

2018年1月26日 第3230回例会

於：メルキュールホテル横須賀『パリ』



- <点鐘・開会> 18:30 小林 会長
- <斉 唱> 「それこそロータリー」
- <ゲスト紹介> *郷土史家 山本 詔一様
- <ビジター紹介> *ふじさわ湘南ロータリークラブ 松下 力様
- <会長報告> *ガバナー事務所より
 - ・2019年規定審議会立法法案提出のお願いについて

- <委員長報告> *社会奉仕委員会 山田委員長より報告
 - ・3月11日(日)10,000メートルプロムナードクリーン作戦について
今回は11回目を迎えるということで、会員の皆様にはすでにご案内しておりますが、締め切りは2月第1例会なので、ご回答をお願い致します。
すでに高校6校に依頼をしてきましたので、是非ご参加をお願い致します。

- <出席報告> *出席委員会 福西副委員長より1月26日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
114名	96名	63名	33名	7名	71.13%

<ニコニコ報告>

- ・松下 力様(ふじさわ湘南RC)色々勉強させて頂きたくメーカーに伺いました。皆様、宜しくお願い致します。
- ・三 役 郷土史家 山本詔一様ようこそお越し下さいました。本日の卓話楽しみにしております。
- ・大竹、薦野、齋藤、信木、田邊、澤田、福西、鈴木、新倉、谷、長坂、波島、江沢、高橋、久保田、吉田、上林、鈴木、徳永、鈴木、加藤、秋本、長尾、宮島、三堀、Enora、井苺、平田、門井、臼井、野坂、飯塚 各会員
郷土史家 山本詔一様ようこそお越し下さいました。本日の卓話楽しみにしております。
- ・三 役 ふじさわ湘南ロータリークラブ 松下 力様、ようこそお越し下さいました。本日はゆっくりとお楽しみください。
- ・渡邊、山下 両会員 ふじさわ湘南ロータリークラブ 松下 力様、ようこそお越し下さいました。ごゆっくりとお過ごしください。
- ・野坂 会員 誕生月祝いとして
- ・三堀 会員 入会月祝いとして
- ・猿丸、澤田、福西、江沢、瀬戸、井苺、物井 各会員
ローターアクト「English講座」の模様を食事中に流します。Enora 会員が作成してくれました。楽しみにしてください。

<卓 話> 「明治 横須賀の三業会」

郷土史家 山本 詔一様

明治20年代の横須賀三業界三業会とは何のことかわかりでしょうか？三業会とは飲食街・花街・色街のことを言いません。

幕末に造船所が置かれ、急速に人口を増やした横須賀は、その中心市街地が汐入エリアから大滝、小川、若松町に移り、明治10年代には日本のどこの都市より活況を呈していました。

飲食では、明治18年（1885年）に聖徳寺下に開店した『小松』の存在は大きなもので、海軍さんに喜ばれた理由は、市街地を通らずに行けること、そしてお酒を飲む前にお風呂に入れることでした。さらには、清潔感あふれていたことが挙げられます。『小松』は明治28年に開店10周年で部屋を広げ、さらに明治38年にも20周年で大きくしたら、日清・日露戦争に勝利した海軍さんをもてなすためにあったような存在でした。



明治22年（1889年）に若松町の地続きを埋め立てて、深田観念寺（米ヶ浜）ができて、表通りは商店が並び、裏通りには銘酒屋や待合、芸者置屋が並び、花街を形成しました。『横須賀繁昌記』によれば、20年代には当時横須賀に芸者が50人、雛妓が数十人いることが記されています。著者の井上鴨西はどの妓がよいとは言えないとしながら、「容貌艶なるは〇〇、芸のよいは〇〇、快活なのは〇〇、その他にも優れた妓をあげれば〇〇」と名をあげ、さらに雛妓では「美にして嬌は〇〇、踊りは〇〇、二葉より芳しいのは〇〇」と名をあげています。これが横須賀へ来て2、3年の記者とは…。

色街は造船所建設に来たフランス人のために、大滝町に慶応年間に出来たのが、始まりと言われています。しかし、その後日本人にも開放されました。20年代の色街の悩みは、中央市街地が小川、若松に移っていたので、町はずれにあった色街が官庁街の汐入と市街地の真ん中に存在していたことでありました。明治21年（1888年）12月、大滝遊郭にあった妓楼20軒が全焼する火災があり、佐野の柏木田へ移転しました。（娼婦200人規模）

平坂上に横須賀で最初の梅毒専門の病院ができ、娼婦は定期検診が義務付けられていました。柏木田遊郭が横須賀町では唯一の遊郭でした。時間も参りましたので、このへんで終わらせて頂きます。ありがとうございました。

<閉 会> 19:30 小林 会長

週報担当 中村 英明